

10 がっひかりごう

令和 3 年 10 月 1 日 輝 保 育 園

涼しい秋風に、高く澄んだ空。大きく深呼吸したくなるような、気持ちの良い季節です。5才児さんが鼓隊の練習をはじめると、1才児さんが「たいこ行こう!」、「お兄ちゃん行こう!」と保育士を誘う姿を見かけました。廊下に座り、じっと見ている1才児さん。先月に続き、5才児さんのファンが急増中です。今年も無観客での運動会ですが、園内では5才児の自信と、1才児の憧れの心が育っています。

【【 お願い 】】

- ・ 戸外での活動が多くなります。カラー帽子のゴムを確認頂き、補修をお願いします。
- ・ 靴は、「すぐに大きくなるから」と大きいサイズではなく、お子さんに合ったサイズの靴で登園させて下さい。
- ・ 少しずつ気温が下がってきます。状況を見て、午睡用のタオルケットは毛布に変更をお願いします。



=== ナース・レポート ===

【10月10日は目の愛護デーです】

2つの10を横に倒すと、眉と目の形に見えることから、10月10日は目の愛護デーとされています。

私たちは情報を得るための8割を目に頼っています。乳幼児時期は、子どもの目ももっとも育つ時期です。

「見る力」を育てるポイントとして、明るさ・暗さのメリハリのある生活を送る事。

また全身運動は眼球、視神経、脳の発達を促すため、広い空間で体と目を動かす機会を得ることが重要になってきます。

子どもは目にトラブルがあっても、自分では気付くことができず、そのままになってしまふことがあります。

普段から、子どもの様子を観察して「おかしいな?」と思うことがあったら、専門機関を受診しましょう。

早期発見・早期治療をすることで、治るケースもたくさんあります。

また、長時間のテレビゲームは控え、照明の明るさ、絵本を読む時の姿勢など生活を見直し、目にいいと言われるビタミンが含まれた緑黄色野菜を食べて、目を大切にしていましょ

《《《 お願い 》》》

1. クリアケースの中と、お便り帳を毎日確認してください。
2. お金などの貴重品は、必ず職員に手渡しをお願いします。
3. 持ち物や衣類には名前の記入をお願いします。名前が薄くなっていないか、もう一度確認をして下さい。
4. 夜更かしをさせず、早寝・早起をし、しっかり朝食を摂りましょう。
5. 毎日入浴させ、清潔にしましょう。

☆☆ 家庭生活（生活習慣）☆☆

生活習慣は育ちの基礎 - 2

◎ 生活習慣づくりは幼児期から始めましょう!

生活習慣は、大きくなれば自然に身に付くというものではありません。

親の正しいしつけによって形成されます。

「鉄は熱いうちに打て」という諺がありますが、幼児期からしつけていき、遅くとも9才頃までには身に付けさせるようにしたいものです。

◎ 親の忍耐力・姿勢が大事です!

生活習慣は、「〇〇をしなさい!」と口先だけで言うてできるようになるものではありません。

例えば、早く寝るためには家の中が静かであることも必要です。

親が子どものために環境を整えたとともに、子どもをリードし、言われなくても自発的にできるようになるまで同じことを毎日くり返すことが大切です。

その意味では、親の忍耐力が問われます。

また、子どもは「親の後ろ姿を見て育つ」という言葉があるように、親の生活態度・習慣が子どもの生活習慣の形成に大きな影響を与えます。

親自身も自分の生活を見直してみましょ

「教育力向上福岡県民運動 ホームページ」より抜粋

こ ども の よ う す

たんぽぽぐみ
0才児



歩く事やハイハイ伝い歩きで動く事を楽しんでいる0才児クラス。自分の意思で動けるようになると自発的で主体的な探索活動によって、いろいろな好奇心を満たす努力をするようになります。言葉で気持ちを伝えることはまだ難しいので、うまく意思表示ができないもどかしさから泣いてしまったり、自分の思い通りにならなかつたり、要求が伝わらないとその失望感から泣きわめたりします。手足をバタバタさせてダダをこねたり、かんしゃくを起こしたりする事もあります。気持ちを汲み取るのが難しいですが、何がしたいのか気持ちを聞き出し、言葉にしてあげると落ち着く事ができます。また、行動を決めてしまわず選択肢をあたえ子ども自身が決めることで納得することも多いです。自立するまでの成長過程なので共にやさしく見守っていきましょう。

たんぽぽぐみ
1才児



9月は、たんぽぽ園庭でたくさん遊びました。早く外に行きたくて、おやつ後のトイレが終わると、自ら帽子を取りに行き準備します。靴や靴下も自分で履いてみよう頑張っています。誕生日が早い子たちは自分で靴を履けるようになりました。戸外では、滑り台を何度も滑ったり、鉄棒にぶら下がったり、トンネルをくぐったりと、たくさん体を動かして遊んでいます。低月齢児の中でも、小さな滑り台の側面から登ることに挑戦する子が出てきました。手足にしっかり力を入れて、体重移動しながら上手に登っています。お友達が見ている姿を見て、まだできないけれどやってみようとする子もいます。真似したり、仲良く遊んだり、刺激し合っていて過ごしています。今月も、運動場で遊ぶ機会を設けたいと考えています。どんな姿を見せてくれるか楽しみです。

すみれぐみ
2才児



2才児の生活も半分が過ぎました。進級当初に比べ、行動や自己表現の幅が、ぐんと広がっています。また、自立心が芽生え、「自分でやってみよう」という思いの反面、思うようにできないもどかしさから癪癪をおこし、「イヤイヤ」と泣き叫ぶ姿もよく見られます。子どもが泣き叫ぶ姿に、頭を抱えることも多いと思います。どう対応しているのか分からず、そのままにしておいたり、感情的に叱ったり、泣き叫んでいるからと、物やお菓子などを与え、泣き止ませるといったことがあると思います。しかし、きちんと丁寧に向き合うことが大切です。子どもがなぜ泣いているのか、その思いを受け止め、気持ちを代弁してあげてください。気持ちを受け止めたうえで、ダメなものはダメと我慢させることも必要です。2才児の大変な時期を一緒に乗り越えましょう。

ちゅうりっぷぐみ
3才児



「敬老の日」の制作として、おじいちゃんおばあちゃんへのプレゼント作りをしました。「おじいちゃん、おばあちゃんにありがとうの気持ちと、「大好き」の気持ち込めてプレゼントしようね!」と伝えると「ママにあげたい!」、「ママにあげてもいい!」と、こども達からの思わぬ声があがりました。私達、保育士は、一瞬戸惑ったものの、子どもらしさたっぷりの可愛い素直な反応がとても微笑ましく、こども達の想いを改めて感じた瞬間となりました。その後、もう一度「敬老の日」について説明をすると「おばあちゃんにあげる!」、「パパのジージにあげる!」などの反応に変わりました。「早くプレゼントしたいな!」、「ありがとうで喜ぶよね!」などと会話が弾み、大好きなおじいちゃんおばあちゃんを思いながら、心を込めて作ることができました。

ばらぐみ
4才児



運動会の旗の活動をしています。取り組んでいくうちに、動きがスムーズになり、自信をもって取り組む姿が見られるようになりました。3分間という短い時間ですが、終わった後は、ほっと一息つくほどの集中力を持続している姿もあります。しかし、一方では集中が続かずに動きが遅れたり、別の動きをしたりしている姿もあります。そのような時は、「フラフラしたら格好悪いよ」、「右手はおでこだよ」と子ども達同士で教えあっています。双方が動きを再確認し、理解し合うことで、動作を合わせようと大きな声でリズムを取るようになりました。集団を意識し始めた事で、一つひとつの行動にメリハリが付きつつあります。話の聞き方一つにしても、キリっとした表情で聞く姿が増えました。気持ちの変化を受け止めながら、クラスとしての更なる成長を期待しています。

ひまわりぐみ
5才児



運動会に向けて、鼓隊、器械体操、組体操、遊戯にとっても意欲的に取り組んでいます。組体操は互いの信頼関係がなければ成り立たない種目です。まだ少し不安な表情も見られますが、互いに教え合ったり声をかけ合ったりしながら取り組んでいます。また、みんなで一生懸命リズムを覚えた鼓隊は心をついに音楽や友だちに合わせながら自信をもって演奏しています。運動会への取り組みを通して自分の得意な活動を一杯頑張る姿、苦しい活動にも目当てを持って挑戦する姿、できるようになった達成感、友だちを応援する気持ちなどさまざまな思いを経験し、心が大きく成長しています。残念ながら直接見ていただくことはできませんが、それぞれの力を十分に発揮しながら、取り組む満足感や充実感を味わい、年長組としての自信と誇りが育つ運動会になるよう願っています。



= 10月の行事予定 =

- 1日(金) 避難訓練
- 6日(水) 内科検診
- 12日(火) 歯科検診
- 22日(金) 身体測定・誕生会